

通信途絶環境下でも使える可搬型ローカルクラウド技術

～ネット環境がなくても近くの人とスマホで連絡を取り合えます～

概要

大規模災害時の電話もインターネットもない状況下で、近隣の人同士で連絡を取り合ったり情報を共有するための可搬型ローカル通信ツール:LACS(Locally Accessible Cloud System)を開発しています。LACSは大規模災害時だけでなく、イベント時などローカルな通信需要が急増する様々な場面での活用も期待されます。

特徴

- 地震や台風など大規模災害時には、停電や通信インフラの損壊のために、電話もインターネットも使えない状況が起こります。そのような環境下で、近隣の人たちとの情報共有や連絡手段として手軽に使えるシステムです。
- 大規模災害時に起こる通信途絶地域の避難所や災害対策本部などでの活用を想定しています。
- その活用域は、災害時用途だけでなく、通信需要が急増するイベント時や通信インフラが十分整備されていない途上国などにおいてローカル通信環境を補強するツールとしての活用も期待されています。

今後の展開

- 今後は、LACS間や他システムとの連携機能といった付加価値向上に向けた開発を進めるとともに、社会実装を目指した実証実験にも取り組んでいきます。

対コロナへの関連

- LACSは、ソーシャルディスタンスを保った上で近くの人たちとコミュニケーションできるツールとして活用可能です。コロナ禍環境下では、災害時の避難所や災害対策本部に加え、様々な場面での活用が期待されます。

システム

LACSは小型コンピュータ、バッテリー、無線LAN(Wi-Fi)装置を可搬型ケースに収容した通信システムです。



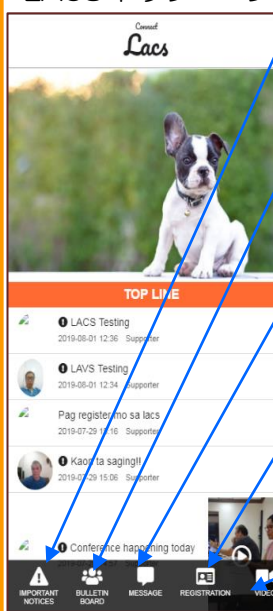
LACSは被災地での情報共有のための簡易ツールとして活用できます。



利用者は自分のスマホなどからWi-Fi機能を使ってLACSにアクセスします。

主要機能

LACS トップページ



重要なお知らせ

自治体から住民に向けた周知など重要な情報配信に使用します。

掲示板

全利用者への情報共有手段として利用します。

メッセージング

利用者間の連絡手段を提供します。

利用者登録

情報アップロードやメッセージ機能利用に必要です。

ファイル共有

利用者間でファイル共有ができます。